

平成25年度タウントーク質疑一覧（概要もくじ）

質問 番号	回答者1	回答者2	質問内容	区 分								
				生活 基盤	生活 環境	保健 福祉	教育 文化	市民 生活	産業	行財 政	施設	その他
南河内-1	市民生活部長		自治会加入案内について					1				
南河内-2	市長		市長の行政経営、市民満足度について							1		
	市長	総務部長	職員満足度、公益通報について									1
	総合政策部長		新庁舎におけるエネルギー調達について								1	
	教育次長		学校等施設の自家発電設備について				1					
	総務部長	建設水道部長	市が管理する構造物全体の補修計画、国道4号線に架かる橋の管理について	1								
南河内-3	生活安全課長		消防団第1分団第1部の消防小屋について								1	
	総務部長		職員の定数管理について							1		
	市民生活部長		国民健康保険の保険証について					1				
南河内-4	市民生活部長		行政カレンダーについて		1							
	市長		小山広域保健衛生組合のごみ訴訟問題について	1								
南河内-5	市長		非核平和の次世代への継承について				1					
南河内-6	建設水道部長		下水道整備状況について	1								
南河内-7	市民生活部長		屋外拡声器について	1								
南河内-7	教育次長		教育内容の向上のための事業について				1					
石橋-1	市長		小山広域保健衛生組合のごみ訴訟問題について	1								
石橋-2	市民生活部長	市民生活課長	自主防災活動中の事故等の補償について	1								
石橋-3	市民生活部長		屋外拡声器の試験調査結果について	1								
	市民生活部長		緊急速報エリアメールの設定方法について	1								
石橋-4	市民生活部長		おでかけ号について	1								
石橋-5	建設水道部長		文教公園の改修について					1				
石橋-6	副市長		空き家対策の条例化について	1								
国分寺-1	市民生活部長		所有者不在の土地へのごみの投棄について									1
	教育次長		国分寺東小学校への不法侵入者について				1					
国分寺-1	建設水道部長		県道44号線の踏切の改善について	1								
国分寺-2	市長		「小金井駅平和の礎」慰霊祭について									1
国分寺-3	建設水道部長		下水道が整備されないことについて	1								
国分寺-4	建設水道部長		国分寺東小北側スクールゾーンの整備・速度規制について	1								
国分寺-5	教育次長		国分寺東小駐車場の白線について				1					
国分寺-6	市長		会計管理者の事業報告について									1
国分寺-7	-		県道仁良川線の道路整備について	1								
国分寺-8	-		国分寺東小学校の横断歩道について	1								
国分寺-8	-		少子化問題について			1						
国分寺-9	教育長		改修の対象となっていない学校のトイレ補修について				1					
	-		行政カレンダーの配付について	1								
国分寺-10	市長		広報のタイトルがローマ字表記であることについて									1
集計（全36件）				16	1	1	6	3	0	2	2	5

南河内地区 15 件

石橋地区 7 件

国分寺地区 14 件

合計 36 件

平成25年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期日:平成25年10月17日(木)午後7時～

会場:南河内公民館大ホール

1	自治会加入案内について
自治会の加入について、以前は、市役所で転入届の手続きを行った際に、受け付けた窓口でその地域の自治会と自治会長を案内されていたようだが、最近、私が自治会長を務める地区に転入してきた世帯は2件あり、どちらの方もそのような案内は何もされず、近所の方に聞いてようやく私の元を訪ねてきたとのことだった。現在は、市の方で自治会の加入案内はしていないのか。	
回答:市民生活部長	
新たに下野市へ転入されてきた方に対しましては、各自治会への加入促進として、加入をお願いすることになっておりますが、たまたま担当した職員が説明を忘れてしまったものと思われます。不適切な対応と考えるので、ただちに市民課長を通じて各庁舎の市民課窓口担当者に対して転入者への説明を徹底するよう指示したいと思いますので、ご理解くださいますようお願いいたします。	

2	①市長の行政経営、市民満足度について ②職員満足度、公益通報について ③新庁舎におけるエネルギー調達について ④学校等施設の自家発電設備について ⑤市が管理する構造物全体の補修計画、国道4号線に架かる橋の管理について ⑥消防団第1分団第1部の消防小屋について
①市長は行政経営という視点から行政品質を考えた場合に、どのように全体的な行政経営をしてきて、いわゆる市民満足度をどのように計っているのか。 ②組織の運営について、職員満足度も重要と思う。職員からの公益通報者保護法に基づく通報ルートについて、通報先はどこになっているのか。弁護士などの外部か、それとも内部か。また、これまでの通報実績について教えていただきたい。 ③特に原発問題以降、電力などのエネルギーは他所から調達したエネルギーを使うだけではない状況になってきている。新庁舎建設に際しては庁舎で使うエネルギーをどうするのか、具体的な計画を伺いたい。 ④新庁舎だけでなく災害時の避難場所となる学校などの施設にはソーラーパネルで自家発電できるような設備が必須ではないかと思う。市の資源・エネルギー政策は、ただ使うだけではなく、どのように調達するのか、できる限り自分たちで生産していってもらおうといったことも考えた政策を行っていただきたい。 ⑤市が管理している構造物全体の補修計画について、構造物の状態や補修の必要性について開示していただきたい旨を昨年度のタウントークでも述べた。ぜひ開示していくべき。特に国道4号線に架かっ	

ている橋については、下野市の管理なのか、道路会社の管理なのか。

⑥市民を守るためには、様々なところを補修していかなければならないと思う。具体的には、消防団第1分団第1部の消防小屋が非常に老朽化している。もし地震であの消防小屋が倒壊し、中の消防車が出動できないといったことになっては大変なことになる。早急に補修をお願いしたい。

回答：市長

① 行政経営について、大方の部分について財政指数という形で説明させていただき、財政評価という部分でご覧いただきました。また、そのやり方・中身については行政改革大綱等を踏まえたということ、総務部長の方から説明させていただきました。

各地域の実情に応じて優先付けをしながら行っていくというのが行政の在り方と考えております。行政経営という視点では、以前は、行政は単式簿記で経営していると言われていたが、現在は、企業会計・公会計で様々な数値を駆使しながら行っております。その部分で改めて経営に関しては、データパック等の数値を形として見ていただくしか、今のところないと思っています。

市民満足度については、このタウントークなどの場で皆様と様々な話をして、市民の皆様とともに進めていきたいと考えております。（このタウントークでは）座席の位置関係の都合上、対立しているように見えますが、目指す方向は市民の皆様と同じです。

効率的な行政を行っていくうえで、ある意味、我慢していただくことも多々あったと思いますが、それについては、ここまで下野市が誇れる形になったということでご理解いただきたい。

② 職員の満足度についてですが、職員の方からは人事評価というものを行ううえで、自己申告など、職員各自が様々な形で報告事項があります。それらを踏まえ、我々は人事評価や職場の異動等を考えています。適材適所つまりこの人間の将来的な能力を伸ばすこと、これはすなわち市民サービスに直結するものという思いの中で、職員に対応しているところであります。

「市民の皆様に褒められる職員＝職員自身も満足を得られた中での職場」という思いで進めていきたいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

回答：総務部長

②公益通報制度については、通報窓口は総務課ということになっております。現在のところ、実績はございません。

回答：総合政策部長

③エネルギー政策に関するご質問の内、新庁舎に係る部分についてですが、ご意見にあったとおり、屋上に太陽光パネルを設置します。これはあくまでも電力の一部を賄うということで整備を考えております。

また、災害時に電力供給が遮断されることになった場合については、3日間連続稼働が可能な自家発電装置を備え付けます。燃料の軽油があれば、自家発電によって対処できると考えております。

回答：教育次長

④学校の太陽光発電設備については、現在、３ヶ所設置してあります。これは、国庫補助事業ですので、その取り次ぎの関係で、多少導入予定が長引く可能性もありますが、将来的には導入を目指していきたいと考えております。

今年度、国分寺中学校では２か年度にわたり改修工事を行っているところですが、来年度、改修と併せて太陽光発電設備を設置することになっております。徐々にではございますが、進めていきますので、よろしくお願いいたします。

回答：総務部長

⑤公共施設の補修・管理計画については、およそ１年前から、これからの公共施設の維持について、非常に重要視しています。莫大な経費がかかるため早めに手を打たなければならないということで、現在、管財課において状況を把握中です。まだ、市長・副市長と最後の詰めはしていませんが、新年度には何らかの組織またはセクションを組織して集中的に着手していきたいと考えております。

回答：建設水道部長

⑤新４号国道に架かっている橋は、３橋あり、市道として認定しておりますが、あくまで国道の維持管理ということで、本体は国の管理ということになります。

回答：市民生活課長

⑥消防団第１分団第１部の消防器具置場については、ご指摘のとおり、かなり老朽化が進んでおり、平成２７年度に建築を予定しております。

３

①職員の定数管理について

②国民健康保険の保険証について

③行政カレンダーについて

①下野市の職員定数管理について、下野市では計画の目標人数３９９人を達成しているとの説明があったが、この定員とは一般会計の職員のみか、特別会計等の職員も全て含まれているのか。市民目線で見たとき、臨時職員以外の正規職員全ての人数と考えてよいのか。

また、市民１，０００人あたりの職員数が６．４３人で、県内１４市中１１位との説明があったが、このような説明をする際には、他市の具体的な数字を提示しながら説明して欲しかった。

最近、身を切る改革が大事だと言われており、市議会では議員定数がまた減ると聞いている。そのような目線で見たとき、その３９９人という職員定数が果たして妥当な数字なのか。

予算を策定するにあたって、その機構定員というものは十分検討するのだと思うが、合併の原点、なぜ合併するのかということに立ち返ってみると、行政の効率的運営というのがひとつの柱になっていたはず。その目線で見たとき、果たして職員の定数管理が本当に市民の目線にかなっているのかということとをきちんと現状を把握し、将来を展望したうえで、適切な市政運営を行っていただきたい。

②今年から国民健康保険に加入した。国民健康保険に加入し、保険証のカードを受けとったが、そのカ

ードの粗末さに唖然とした。紙でできているが、ごみと間違えて捨ててしまいそうだ。図書館の利用者カードの方が立派なカードである。私は今まではもう少しまともな保険証をもっていた。こんなカードで本当に大丈夫なのか、暫定的に交付されたのかと思った。極めてショックだった。下野市の国民健康保険税は、他市と比較しても著しく安いというわけではないと思っている。どうか、これから予算を立てるうえで、この国民健康保険カードを何とかしてもらいたい。

③ごみカレンダーは、行政のあらゆる重要な情報が網羅されていて、単にごみを出す日だけでなく、色々な情報がわかり、たいへん便利なもの。ところが、今年度からかなり質が落ちた。具体的にいえば、まずサイズが小さくなった。以前はひと月のカレンダーに前月分と翌月分が表示されていたが、それがなくなった。それから、紙の質にもよると思うが、めくり方式なので、1枚めくると上の方が垂れ下がってきてしまう。あれは何とかならないか。

回答：総務部長

①職員定数管理について、今回ご説明した職員数は、特別会計も含めた正職員の総数です。

他市との比較が欲しいとのことでありましたが、今回はパワーポイントで示しましたので、あまり詳細な資料を提示できず申し訳ありませんでした。今後、事務局と検討したいと思います。

続いて399人の定数が妥当かどうかという点については、今回、399人の目標を達成いたしました。これから平成32年までの第2次の定員適正化計画に着手しており、年内または年度内にまとめたと考えております。

今後は、職員の退職者も徐々に増えてまいります。また、人口はますます高齢化が進んでいくことが見込まれており、それならば高齢化対策に対応する専門職員が必要になることが予想されます。このような様々な時代背景を踏まえ、十分に精査しながら、国の適正化のもと進めていきたいと考えております。

回答：市民生活部長

②国民健康保険の保険証については、県内統一で作成しております。担当課に確認し、研究してまいりたいと思います。

③ごみカレンダーの紙質の件につきましては、再生紙を使用している都合上、多少、質が落ちたということも考えられます。サイズが小さくなったことに関する苦情は何件か話を伺っている。来年度作成にあたっては、担当課において検討したいと思いますのでご理解いただきますようお願いいたします。

4

①小山広域保健衛生組合の訴訟問題について

②非核平和の次世代への継承について

①市長から、市の財政状況について順調にいったいとの説明がありましたが、気になるのは訴訟問題。小山市広域行政のこと。これは相手が悪徳業者で、やり方があくどいのだと思うが、負担がどんどん増えており、非常な負担を被らされる恐れがあると思うが、これについて、どのように考えているのか。

②9月の議会における磯辺議員の平和行政に関する質問で、被爆者の方々がどんどん歳をとっていく中で、原爆を落とされた体験あるいは核兵器の悲惨さを何とか次世代の人たちに伝えて、世界から核兵器をなくすようにしていかなければならない、ということに対して市長に非常に前向きな答弁をしていただき、期待している。被爆体験を伝承するのは非常に大事だということで、中学生や高校生などの若い方を被爆地広島・長崎に研修として派遣し、平和記念大会や平和資料館などへ行ってもらうことを前向きに検討していきたいということで、ぜひやってもらいたい。

私は、非核平和を進める下野市の会の事務局をやっているが、これは3年越しで市長に要望していたことで、非常に喜んでいる。

また、被爆体験を広めるだけでなく、本当に核兵器をなくしていかなければならない。原発も非常に問題があると思う。原発をやめると同時に、それよりも先に原爆をなくしていかなければならない。

国連である程度進んでいるし、2014年には会議があります。段々と進んできていることは確かだが、まだ、アメリカ・ロシア・イギリスといったところは、中々、最後の一つは自分がもっていきたいと思っている。そこで、大きな圧力をかけて全国民的に原発をなくして欲しいという署名を集めていかなければならないと思う。この前は市の方にも協力していただきました。今後もよろしくお願いしていきたい。市民全体でもっとたくさんの署名が集まるようにお願いしたい。

回答：市長

①小山広域のごみ訴訟の問題については、まだ正式な形では決定していないところがありますので、係争中ということで、お許しいただきたいと思いますが、まず全体的に広域全体で処理をする、処分をする、費用負担をするということになります。確かに、将来的に我々がどれだけ費用負担になるかという部分は大きな問題だと思っていますが、その中でしっかりと責任分担分は支払い発生させていくことになります。ただ、現時点のところでは、2市2町小山広域の中でも基金という形で造成している部分がありますので、それらについては後ほどということでお許しいただきたいと思います。

②原爆関係のことで子ども達に繋いでいくところは、議会でも答弁させていただきました。

ただし現在、問題になっているのが、広島・長崎の式典当日ごろではホテルがとれないという話があり、そういう時期でない時に勉強させる人数を増やした方が良いのかといったことなど、もう少し子ども達がしっかりと体験学習ができるよう教育委員会と話をしておりますので、前向きに頑張っていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

5 下水道整備状況について

建設部の説明に下水道に関する説明が何もなかったが、市の行政として、下水道整備はどのように考えているのか。現在、どのくらいのパーセントで整備されているのか、今後、どのように進めていくのか。

回答：建設水道部長

本日の説明は、おおまかにということでしたので、下水道関係については触れませんでした。平成24年度末におきまして、下野市における下水道については、農業集落排水と通常の公共下水道の両方を足しますと普及率は84.9%になります。今現在、下野市では平成26年度までが下水道の整備計画がございまして、それに基づいて進めているわけでございます。

平成27年度からさらに今後どのように進めていくかということについて、本年度・来年度の2か年で今、検討しているところです。

先日の新聞報道においても、合併浄化槽を含めた下野市での普及率は県内4位ということで、決して低い方ではありません。市街化区域の中でも仁良川の区画整理等をさせていただいておりますが、それ以外につきましては、おおむね市街化区域の整備というものは終わっています。今は調整区域の整備と仁良川地区の区画整理の整備ということで進めているところです。

6 屋外拡声器について

屋外拡声器についての話があったが、12時と5時の音楽が鳴っているのはすごく良く聞こえるが、何かお知らせをしているときは、共鳴してワンワンとなってしまうと、何を言っているのかわからない。だいたいこんなことを言っているのだろう、選挙の日だから選挙に行けと言っているのかな、といった感じなので、災害時にも市民は必要な情報を入手できるというところまでいっていないと思う。

ぜひ改善をお願いしたい。改善の予定があるかお聞きしたい。

回答：市民生活部長

先日の全国瞬時警報システムの試験において、市内にある拡声器の各地区に職員を配置し、それらの状況を確認しました。その結果、8か所で「やや聞きづらい」ということが確認されました。これにつきましては、委託業者であるNTTに状況等を説明しながら改善策を検討してまいりたいと考えております。

先日の試験については、レベル10ということで、確かに共鳴してしまい、音が割れたという地点もいくつか見られました。通常の放送につきましては、うるさいという苦情もございましたので、レベル6～7くらいで放送しております。

放送レベルについては、場所や条件によって聞こえ方が変わってくるということもあり、その点についてはご理解をいただかなくてはならないものと考えております。いずれにしましても、委託業者と状況等を踏まえてこれから対応してまいりたいと思いますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

7 教育内容の向上のための事業について

教育委員会の事業報告についてお尋ねしたい。小中学校の耐震化や大規模改修といった建物の事業についてはここに記載されていたが、ソフト面、いわゆる教育内容の向上のために何か記述すべきもの、報告してもらえないか。

回答： 教育次長

今回の報告は、合併してから今までの中で特に顕著にあった部分で、耐震化と施設の整備ということで継続的に実施してきたものが成果としてあがってきたため、報告させていただきました。

ソフト面でも、全部をこの場で述べるのは難しいですが、例えば、一つは、色々な対応部分です。例えば、「学校教育サポートセンター」です。色々な困り事、これは保護者の方・子どもさん・先生方など皆さん日常的に色々な部分で大変な部分を抱えています。学校内では対応できない部分もありますので、平成23年10月から組織を立ち上げまして、何か困り事があれば、これは先生でも結構ですが、センターの相談員やコーディネーター、ケースワーカーがおりますので、それで総体的に対応しています。

例えば不登校の子については、そのサポートセンターで、適応指導教室という不登校のための施設があるのですが、そういったものを交えながら市として一体的に取り組んでいこうとしています。学校だけではなかなか家庭に関われない、といった場合にサポートセンターの方で間をとって、そういったことに関してもじわりじわりと地道に取り組んでいこうとしているところです。ソフト面では、こういうものに取り組んでいます。

ソフト面は今、難しい状況になっていますので、そのあたりに関しては大分動きが出てきたものと感じております。

平成25年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期日:平成25年10月18日(金)午後7時～

会場:保健福祉センターきらら館

1	小山広域保健衛生組合の訴訟問題について
小山広域保健衛生組合のコンポスト問題について。当事者から説明がなかった。この問題は6億円市が負担するとのことだが、先日の小山広域保健衛生組合の説明会をきいた。広域に「下野市でも説明会を行う用意があるのか」、と聞いたところ、下野市から要請がなく、あればやるとのことだった。市で説明会を開催してほしい。3億円の補てん金と積み残し3億で6億円、8年間で支払う。もともと石橋は小山広域に入っていなかった。 裁判が確定してからの説明とのことだが、裁判が結審するまでは説明を差し控えると、ずっと説明なしできた。向こうの業者とのやり取りでは当初は2億円だったが、裁判を続けていくうちに40億円というばかげた金額になってしまった。その途中経過の説明責任があるとおもう。市民はいきなり40億円払えと言われて納得するわけがない。しかもまだ裁判が継続している状況なので詳細な情報を提示してほしい。	
回答: 市長	
確定してから説明する旨市の議会でも答弁したが、裁判が終結しておりません。小山広域の説明は経過概要説明であり、おなじことであれば市でも説明できます。 石橋はし尿処理を小山広域で行っておりました。大きな額の訴訟であり、これから小山広域の議会での経過を受け、また裁判が決定をした段階で詳細な説明を開催させていただこうと考えています。広域を組織する2市2町すべてで同じ説明ができるようにしていきたいと考えております。 下野市ではこれまでの経過説明を広報紙に掲載させていただいております。なぜ裁判が結審するまで情報提供できないかと申しますと、調停作業のなかで弁護士同士のとのやり取りが発生し、こちらでお願いしている弁護士から外部に対する秘密の保持を依頼されています。説明できる限りのところは広報紙にも掲載いたしましたし、議会とも協議をしています。これ以上の部分については、弁護士も相手と話に支障がでてしまうような案件なのでご理解いただきたいと思います。	

2	自主防災活動中の事故等の補償について
自主防災活動の件について。栄町自主防災会が昨年発足し、役員を中心に組織体制づくりや研修活動を行ってきた。今年度になって活動を広げ、各班の活動の核として、避難要援護者への支援活動や近隣への緊急災害の情報伝達などの役割を担う地域防災推進委員を各班に設けた。今現在85%の班から選出されている。残りの15%は班長も含め構成員の多くが要援護者側ということが多い。 選出された推進委員が支援活動の最中に、もし事故・けがなどが発生した場合に補償などはどうなるのか心配だという声が上がっている。市でこういった場合の傷害補償などを考えているか。なければ検討していただきたい。	

回答： 市民生活部長
ご提案のあった補償の件について、早急に検討していきたいと考えております。
回答： 生活安全課長
防災訓練の際のけがなどは、市で保険に加入していることを付け加えます。

3	①屋外拡声器の試験調査結果について ②緊急速報エリアメールについて
①先月屋外拡声器の調査があったと思うが、その結果について。 ②9月号に掲載された「緊急速報エリアメール」についての記事だが、私は携帯電話会社まで行って設定してもらわなければならなかった。改めて設定方法の広報や、機会があれば講習会を開いて欲しい。	
回答： 市民生活部長	
①について、9月11日に2回目の試験を実施しました。昨年度行った試験で判明した難聴地域48か所に職員を配置し今回の試験を行いました。結果8か所難聴地域がありました。うち石橋地区に6か所ありました。スピーカーの向きや、地域の条件など色々な条件があると思いますが、委託業者であるN T T東日本と協議しながら対応していきたいと考えております。 ②下野市内に特化した「緊急速報エリアメール」についてはN T Tドコモ、K D D I、ソフトバンクが対応している電話会社となります。設定方法について、再度広報紙等で周知を図っていきたいと考えております。	

4	おでかけ号について（1）
おでかけ号について要望。私の住む吉田地区は市の東に位置し、上三川町や小山市の病院に行くことがある。また違う区域に行くときに乗継料金がかかってしまうので改善してほしい。	
	おでかけ号について（2）
上三川町では町外9か所に行っているということである。同様にならないか。	
回答： 生活安全部長	
おでかけ号は、現在市内のみで1時間ごとの運行となっています。市外まで回ると1時間の運行では難しいと思われます。 また、乗継料金について、他の方からもそういった声が聞こえております。無料にすれば市の負担となってきます。 料金や運行スケジュールの検討を行う公共交通会議が11月に行われますので、こういったご意見について、先進地の事例なども研究しながら検討していきたいと思います。	

5	文教公園の改修について
通古山の近隣公園となる文教公園の改修はいつごろ終了し使用できるようになるのか。 また、南側の砂敷きの部分は多目的使用区域とするようだが、市としてはどのように考えているのか。	
回答： 建設水道部長	
トイレの工事とグランドの方の駐車場整備の工事を行っています。トイレについては11月上旬に着手となりますが、グランドについては工事完了しております。工事完了後、業者に速やかに書類を提出を求め、検査完了し、工期完了前に使用できる様進めていきたいと思ひます。 またグランドについて、グランドゴルフなど芝で行われている方も多いと思ひますが、今のところ現状のまま使用していただこうと考えております。このグランド部分については、合併以前の整備計画において、草が生えないように木材のチップなどを入れた特殊なグランド整備となっております。今後も近隣のグランド利用者の皆様とお話しあいしながら、有効活用を図れるよう進めていきたいと思ひます。	

6	空き家対策の条例化について
最近、空き地・空き家が多い。空き地については市にでんわ連絡するとすぐに対応してもらっている。 しかし、空き家の雑草が伸びたり、防犯・火災の不安などもある。空き家対策への条例化など、市の考えがあるか。	
回答： 副市長	
空き家条例について、先の副市長会議でも話題にあがりました。各自治体で条例化してはとの意見もあるのですが、国会の方で空き家対策の法律を作るといふ動きがあるようです。現在、自治体が空き家に対して行政が行える権限に限界があるといふことで、国会での法律化の動きをみながら検討してまいりたいと考えています。	

平成25年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期日:平成25年10月19日(土)午前10時30分～

会場:コミュニティセンター友愛館

1	①所有者不在の土地へのごみの投棄について ②国分寺東小学校への不法侵入者について ③県道44号線の踏切の改善について
①地主さんはそこにいないのだが、下草を刈ったり花を植えたりしている。そこにかんぴょうのビニールなどを捨てたりしている。環境課に注意してくれと相談に行ったが、本人からは「そこは堆肥塚にするのだから通り道を空けてくれ」と逆に言われた。環境課は指導できないとのことである。なぜか？ ②国分寺東小学校の前を暴走族のような者が校内に入り込んで、屋上でたばこを吸ってみたり、プールの金網をやぶって泳いでみたりしている。見回りをするために垣根をとってもらったが、草刈機を寄付しているが草刈りされていないため見回りできない。 ③県道44号線(栃木二宮線)の踏切について、危険な場所なので自治会長と相談してJRに改善の要望を出したが後回しになっている。	
回答: 市民生活部長	
①個別な案件のようですので別途お伺いいたします。	
回答: 教育次長	
②学校は夜になると無人化してしまいます。不法侵入などの情報がありましたらご連絡ください。警察などと協力しながら対応していきたいと思います。	
回答: 建設水道部次長	
③県道栃木二宮線の踏切について、市と栃木土木事務所及びJRと立ち合いを行いました。実際には遮断機自体を動かした方が良いのでは、というふうにJRのほうでは考えているようですが、非常にお金がかかる工事となるので、いつ着手できるかわからない、という回答を頂いております。とはいえ危険もありますので、再度県を通じてJRの方に要望していきたいと考えております。	

2	「小金井駅平和の礎」慰霊祭について
7年ほど前から夏に原爆パネル展を行っている。そういった縁から「小金井駅平和の礎」慰霊祭に参列させていただいている。市長、副市長、議長や地元議員をはじめ多くの行政関係者が参列している。慰霊祭の実行委員の高齢化も進んでいるので、市の行事として取り組んでいただけないか。	
回答: 市長	
こういった行事は、地域の皆さんの戦争での体験を後世に伝える大事なことがと考えております。 現在、会の会長も元気でおられますし、多くの方にお手伝いいただいているようです。自分たちで伝えていく、という想いもあるとおもいますので、そういった気持ちをくみ取ってつないていければと考えています。	

3	下水道が整備されないことについて
むつみ愛泉幼稚園と保育園の間の南側地区で、平成22年度に下水道の計画があったようだが、3年経ってもなにもない。なぜ下水道がひかれないのか。	
回答：建設水道部長	
市でも場所を把握しております。神社に入る参道付近とむつみ愛泉付近の部分について公共下水道が未整備となっております。占用の関係で調整がつかないため、ルートを変更して再計画しております。新年度予算化に向けて準備しております。	

4	国分寺東小北側スクールゾーンの整備・速度規制について
国分寺東小学校北側には歩道があるが、南側交差点（下野市商工会近接）に歩道がない、整備してほしい。また南側道路がスクールゾーンになっているのに外側線が白線になっているので黄色の線にしてほしい。また速度規制も40kmとなっているので30kmとしてほしい。	
回答：建設水道部長	
当該か所について（タウントーク）終了後にお教えてください。スクールゾーンの速度制限などについて、警察で設定・規制しています。協議したいと思います。	

5	国分寺東小駐車場の白線について
東小学校の駐車場の白線について、白線が見えなくなっている。父兄はイベントの度に白線を引いている状況である。早急に白線を引いていただきたい。	
回答：教育次長	
学校の実情等を確認し、要望として承りたいと思います。	

6	会計管理者の事業報告について
（資料について）市の会計報告についてですが、皆さんが歳計外現金がどういったものかわかるのか？またこういった資料を出す際は損益計算書、貸借対照表、を提示して欲しい。 （各補助事業等について）市税の負担がなくなったから良かった、ということではなく、そもそもこの歳計外現金を減らすことが大切で、国税も我々の税金です。新庁舎の建設や国分寺尼寺の整備など市民からの要望であったのか？そうでなければ事業を行わないでほしい。 （資料について）カラーでの印刷やきれいな資料は経費がかかる。こういった無駄遣いはしないで欲しい。要望として伝えたい。	
回答：市長	
損益計算書や貸借対照表などについては広報やホームページでお知らせさせていただいております。	

今回の報告は各部局の事業報告とさせていただきました。会計課については資金運用などについて報告させていただいた形になっております。

7 県道仁良川線の道路整備について

県道仁良川線からの道路整備をしていただいた。これまでは耕耘機も通れないような道路であった。関係地権者を代表してお礼申し上げたい。

8 ①国分寺東小の横断歩道について
②少子化問題について

①（先ほどの東小学校の横断歩道の話にともなって）こうとうだクリニックの前が坂になっており非常に見にくい、ということで昨年３月に相談した生活安全課長の回答では、財政的なものや震災需要により資材がないとのだったが、引き続き警察当局に要望していただきたい。

②少子化問題について、経済的な理由などで結婚したくてもできない人もいます。市としての対策をお願いしたい。

以上要望としてお伝えしたい。

9 ①改修の対象となっていない学校のトイレ補修について
②行政カレンダーの配付について

①学校の施設について、建物が比較的新しいためか、改修の対象になっていないが、トイレがずっと改修されなかったり、ドライ化されていない。やはりトイレはきれいでないと使いづらいということもあるので、検討をお願いしたい。

②行政カレンダーについて、私の周りの方は以前の大きいカレンダーの方が良いと言っている。小さくしたことにより経費が削減されたと聞いたが、近所で聞いた話だとアパートの方で自治会と管理会社の両方からカレンダーが届いている方がいるようだ。そのような面を改善していただければ元の大きいカレンダーにできるのではないかと。要望としてお伝えします。

回答：教育長

合併後、子どもたちの生活環境改善ということで、古い学校のトイレのドライ化など、改修を進めてきました。祇園小も２０数年経っており老朽している部分もあるので、学校と相談しながら進めていきたいと思っています。

10 広報のタイトルがローマ字表記であることについて

市報のローマ字で「Shimotsuke」と書いてある。栃木の「下野」は由緒ある地名であり、非常に良いものである。せっかくブランドなどもはじめたのでもっと「下野」をアピールしては。

回答：市長
広報が面白くなく読まれない、という意見もあり、それではもっと触れやすいものにしていこうということで取り組みました。私も全国の市長等と名刺を交換する際に「しもつけ」と読んでいただけないことが非常に多く、わざわざ裏面にローマ字で「Shimotsuke」と入れています。 地元であれば下野（しもつけ）と読めるとは思いますが、いろんな場面に応じて色々取り組みさせていただきたいと考えております。